どろんこだいすき

令和８年 10 月１日
千代田区立昌平幼稚園
園長　大川　美紀子

『昌平キッズ』ビオトープだより　NO. ２４９

朝夕は爽やかな風が心地よく感じられ、園庭にも秋の訪れが感じられる季節となりました。園庭の木々にはたくさんの実がなり、田んぼの稲は間もなく収穫の時を迎えようとしています。

今月のビオトープだよりでは、稲の様子やポップコーンの収穫、秋の始まりが感じられる園庭の様子についてお知らせします。

稲が実りました！

田んぼの稲



春、子どもたちと一緒に田起こしをするところから始まった稲作。土の感触を楽しみながら田んぼを耕し、５歳児きりん組が小さな苗を一本一本植えた日から、稲の生長を楽しみに見守ってきました。そして今、稲穂はたくさんの実を付けています。ひよこ組とうさぎ組がそれぞれ育てているバケツ稲も、稲穂の穂先が徐々に垂れ始めています。

バケツ稲



５歳児きりん組は、AGRI　BATON　PROJECT（農業の魅力を伝える活動をしている農家の方々によるプロジェクト）の横田農場さんとオンラインでやり取りをして、互いの稲の生長を知らせ合ったり、稲作をしている中での疑問を尋ねたりして交流しています。９月の回で、稲刈りのタイミングについて質問をしたところ、「大体の稲穂が黄金色になって少し緑色の稲穂があるくらいの時期に稲刈りをするといいよ」と教えていただきました。教わった後は、稲穂の色を確認して、稲刈りの日を楽しみにしているきりん組です。

ポップコーンやナス、ピーマンを収穫しました



５歳児きりん組が育ててきたポップコーンが、ついに収穫の時期を迎えました。子どもたちは、ポップコーンを根元から「ポキッ」と折って収穫するときの感覚を楽しみながら、「取れた！」「見て見て！」と喜んでいました。また、実を包んでいる皮を一枚ずつ丁寧にむき、現れた実を嬉しそうに眺める姿もありました。春に種をまいてから、水やりをしたり、生長の様子を見守ったりしながら大切に育ててきたポップコーンです。それが大きな収穫の喜びにつながったようでした。きりん組保育室に干しているポップコーンを見つめながら、収穫祭への期待を膨らませている子どもたちです。





４歳児うさぎ組は、秋ナスとピーマンを収穫して食べました。ナスは真夏には実りませんでしたが、少し涼しくなった８月末から、再び次々と実り始め、驚いていた子どもたちです。獲れたての野菜の美味しさを味わうことができました。

園庭にたくさんの実がなっています

今年はどの木にもたくさんの実がなっています。長い夏休みが終わり、子どもたちとビオトープの様子を見に行くと、「いっぱいあるよ！」「こっちの木にもたくさんなっている！」と、昨年度とは異なる木々の様子に驚いていました。また、「あの木にもある！」「重そうだね」などと話しながら、友達と一緒に様々な木を見て回る姿も見られました。

秋の深まりとともに色付いていくカキやカリン、秋から冬にかけて黄色く色付いていく夏ミカンやユズなど、園庭の自然はこれからますます美しく変化していきます。身近な自然に親しみながら、その変化や美しさに気付き、季節の移り変わりを感じられるよう、これからも子どもたちと一緒に園庭の自然を楽しんでいきたいと思います。


カリン


カキ


ジュズダマ

畑の近くに植えてあるジュズダマも、夏の間にぐんぐん伸び、丸い実がたくさん実り始めています。


夏ミカン


ユズ

《ビオトープクイズ》

まるいみのようなもののなかにたねがはいっています。
なつにさいたあかやむらさきのきれいなはなのたねです。
そのはなのなまえはなんでしょうか？

ヒント　まるいかたちのはなだよ。



1　あさがお
2　ひまわり
3　あじさい

１０月８日（木）の登園時までに、解答用紙をビオトープクイズ応募箱に入れてください。